

1. 規則について

本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走規準、本大会実施要綱、日本学生陸上競技連合主催の駅伝大会に関する規約、及び申し合わせ事項に基づいて実施する。また、日本陸上競技連盟「競技会における広告及び展示物に関する規程」を適用する。

2. 競技者の登録と変更について

- ①出場チームは2025年10月29日(水)午前10時から30日(木)正午までに各区間の競技者8人と補員5人を大会事務局に登録する。
- ②メンバー変更は2025年11月2日(日)午前6時10分から午前6時30分までにスタート地点の大会事務局テントで受け付ける。変更は競技者と補員の交替に限る。競技者同士の区間変更は認めない。補員と交替した後の競技者を再登録することはできない。また、午前6時35分に大会事務局テント前でメンバーの最終確認を行う。各チームの監督、マネージャーのいずれか1名が必ず集合する。
- ③ 競技者と補員との交替は最大3人までとする。
- ④ 突発的な事故等により4人以上の交替があった場合、当該チームはオープン参加扱いとする。個人の記録もすべて参考記録扱いとする。

3. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは競技者1人につき4枚配布する。計測チップ付帯の1枚は大会当日、第1点呼時に配布する。他3枚のアスリートビブスは大会事務局から事前に送付する。
- ②計測チップ付帯の1枚はレース用ユニフォームの胸につける。他の3枚はユニフォームの背、競技者が着用しているウォームアップウェア、荷物袋にそれぞれつける。
- ③走り終えた後に各中継所、及びフィニッシュ地点で審判員(競技者係)がアスリートビブス付帯の計測チップを回収する。

4. 大会当日の招集(点呼)について

招集(点呼)は、先頭通過予定時刻の30分前(第1点呼)と10分前(最終点呼)の2回とし、下記の表の通りとする。第1点呼は競技者が代理人が受ける。その際、ユニフォームを確認し、計測チップ付帯のアスリートビブス1枚を配布する。最終点呼は必ず競技者が受ける。

	第1点呼	最終点呼	先頭通過予定時刻
第1区走者(熱 田)	7:40	8:00	8:10
第2区走者(藤 前)	8:07	8:27	8:37
第3区走者(長 島)	8:38	8:58	9:08
第4区走者(羽 津)	9:12	9:32	9:42
第5区走者(林 崎)	9:45	10:05	10:15
第6区走者(河 芸)	10:21	10:41	10:51
第7区走者(藤 方)	10:58	11:18	11:28
第8区走者(豊 原)	11:49	12:09	12:19

最終点呼後は定められた「ウエイティングゾーン」で競技者は待機する。

★★1キロあたり1～4区は2分50秒、5～8区は2分54秒、5時間6分46秒で計算。(秒数は四捨五入)

5. 競技について

- ①スタートは2列に並んで行く。並び順は前列中央にシード校8校を配置し、残りのチームは抽選で決定する。シード校の並び順は主催者が決定する。
- ②競技者は必ず道路の左側端を走る。歩道と車道の区別がある場合は車道の左側端とする。ただし、指定された場合はこれに従う。
- ③「たすき」は各チーム1本を準備し、2025年11月1日(土)午後1時30分から午後2時までに大会事務局へ持参し、確認を受ける。
 - ・「たすき」は布製でサイズは長さ1.6mから1.8m、幅6cmを標準とする。
 - ・「たすき」は、肩から脇の下に斜めに掛けて走るものとする。首にぶら下げたり、腰に巻いたり、手に持って走ってはならない。ただし、中継所前後では手に持って走ってもよい。
 - ・各中継所の「たすき」の受け渡しは、中継線から前方20mまでの中継ゾーン内において行われなければならない。
 - ・「たすき」を受け取る競技者は、ユニフォーム姿になりウエイティングゾーン内で待機する。
 - ・チームナンバーを呼ばれたら、直ちに中継線より進行方向(前方)に位置する。

- ・中継所において「たすき」を渡し終わった競技者は、速やかに左側に寄るか、走路外へ出る。
- ④2チーム以上が接近して中継所に近づいた場合、先頭チームの次走者から順に進行方向右側へ並ぶ。
- ⑤競技者が競技中に故障、疾病等により走行困難となり、歩行、立ち止まり、横臥等を行い、審判長あるいは大会医務員(医師)から競技中止を命じられた場合、競技者は直ちにその指示に従わなければならない。また、突発的な事故により審判員が以後の競技続行が困難であると判断した場合(当該競技者の意志確認が不能の場合も含む)、直ちに競技者を救護し、競技を中止させる。なお、審判員、大会医務員は監督との連携を可能な限り密にすることとする。
- ⑥⑤の場合、当該チームは途中棄権となり、その区間の競技は無効となる。ただし、審判長の指示(中継所主任が代行する場合もある)で、次の区間から競技を再開することができる。
レースを途中棄権した場合、その区間の前区間までの記録は公式に認められる。再スタート後の各区分記録、及び全体の記録は参考記録扱いとする。再スタートは最終チームの走者と同時とする。(繰り上げスタートが実施される場合はそれと同時)
- ⑦自動車、自転車等の車両を用いて伴走や応援をした場合は審判長の裁定で失格とすることがある。
また、次のような行為は絶対に行わない。
 - ・競技者の左右に介在したり、通過する時に応援したりする。
 - ・車両から車外に身体を乗り出す、物を突き出す、投げる等、交通上危険な行為をする。
 - ・車両から校旗、部旗などの幟旗、学校を表示する標識を掲げる。
 - ・飲食物の提供、その他の手助けを競技者にする。ただし、競技役員、監督・コーチが状態を確認したり、安全を確保したりするために一時的に競技者の身体に触れても手助けとは見なさない。
- ⑧緊急車両(救急車等)の通過・横断を最優先とする。審判員から制止を求められたら競技者は競技を一時中断し、緊急車両の通行を妨げない。
- ⑨道に直接目印となるマーキングは厳禁とする。
- ⑩付添人等が中継ゾーンに入ることは認めない。
- ⑪各区分とも奇数距離の地点(1km,3km,5km,…)と「中間点」地点を表示する。ただし、道路事情などで表示できない場合がある。
距離標識は補助員が表示するが、道路事情等で必ずしも正確でない場合がある。
- ⑫競技中に発生した傷害・疾病の応急処置は主催者が行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、2025年度の日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- ⑬繰り上げスタートは、各中継所において先頭チームから10分を超えて遅れたチームがある場合に実施する。ただし、第5、第6、第7中継所は15分とする。
- ⑭繰り上げスタートの場合、その競技者は「白色のたすき」でスタートする。
- ⑮フィニッシュ後、記録の整理ができ次第、競技結果を神宮会館内に掲示する。抗議等は掲示後、30分以内に神宮会館内の大会本部に申し出る。

6. 競技者及び荷物の輸送について

- ①第1中継所から第7中継所には主催者が収容バスを運行する。(乗車は各チーム2人まで。必ず乗車すること)
- ②走り終わった競技者は中継所で待機し、区分毎に収容バスでフィニッシュ地点へ移動する。
- ③競技者の荷物(更衣物)等は荷物車で運搬する。競技中、各チームが自動車・自転車等により運搬することは禁止する。
- ④競技者の荷物は、主催者から事前に送付する指定の荷物袋に入れ、各中継所の指定された場所に置く。

7. 閉会式について

- 閉会式は、神宮会館大講堂(伊勢市宇治中之切町152)で行う。
- 閉会式終了後、会場から近鉄宇治山田駅までシャトルバスを運行する。